

# スピーチコンテストに出場して

英語英文学科 4年 植松真理子

今回のスピーチコンテストは私にとって本当にいい思い出になりました。私は1年生のときから「一度でもいいからスピーチコンテストに出場してみたい。」と思っていたのですが、しかし自分自身に自信もなければコンテストに出場できるほどの英語力もないと思い、エッセイすら出すことが出来ませんでした。それどころか英語を勉強すること自体が嫌いになっていく方でした。

ところが、今年になってたくさんの英文科の友人と後輩が出来ました。彼らはいつもいつも楽しそうに英語に触れていました。彼女たちは毎日のように熱心に英語を勉強していました。そして皆は私に楽しく英語を勉強することを教えてくれました。だからこのことを誰かに伝えたいと思い、たくさんの先生方、たくさんの友

達の協力を得て、エッセイを書き上げました。嬉しいことに4年生になって初めてエッセイを出し、初めてスピーチコンテストに出場することが決まりました。

いざスピーチコンテストに出場することが決まると、そこからまた大変な毎日が始まりました。私は自分自身に本当に自信がなく、本番は上手くスピーチが出来るかどうか不安で不安で仕方がありませんでした。「賞はいらない。ただ後悔はしたくない。」と強く思い、お忙しい中、たくさんの先生方に何回もエッセイをチェックしてもらい、文法、語彙、発音を何度も何度も直してもらいました。友達や後輩にも何度も聴いてもらい、間違いを指摘してもらいました。今となっては、その練習した日々が私にとって素敵な思い出になっています。

私には英文科の皆に伝えたいことがたくさんあります。それは諦めないこと、夢を持つこと、そして楽しく英語を学んでいくことです。私は自分の気持ちや思っていること、今まで学んできたことが観客の皆に伝わって、私のスピーチを聴いた後に何か思ってくればそれでいいなと思っていました。これが私の目標でした。当日はおかげさまでオーディエンス賞を頂くことが出来ました。

たくさんのサポートとたくさんの応援があったからこそ、当日は納得のいくスピーチができたと思います。私を支えてくれた多くの人に感謝し、これからも頑張っていきたいとお思います。そして英文科の皆に是非、スピーチコンテストにチャレンジしてもらいたいです。必ず多くのことを得られると思います。